

学校だより

令和4年3月

# 戸山

新宿区立戸山小学校

## 言葉を豊かにし、自分の考えや思いを 表現しあえる児童の育成 ～国語科指導法の充実～

研究主任

本校では、「言葉を豊かにし、自分の考えや思いを表現しあえる児童の育成～国語科指導法の充実～」を研究テーマとして、1年間研究を積み重ねて参りました。今年度は東京都の「授業改善推進拠点校」とし、児童の学力向上を図るため、東京都で行っている「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果を「全国学力・学習状況調査」の結果等と関連付け、学びに向かう力等に注目しながら分析し、授業改善を行なってもらいました。

低・中・高学年・まなびの教室と分かれ、研究授業・発表を行いました。その後、グループ協議・全体協議を行い、講師や区・都の指導主事の先生方に指導を仰ぎながら、研究を深めました。

今後も本校の教育活動をさらに充実させていくために、教員も研鑽することを通して、日々の授業実践の質を向上させたいと思います。

## Believe yourself

校長 百合野 壽郎

“あっ”という間に、令和3年度、最後の月になりました。子ども達も新型コロナウイルス感染拡大予防対策の中で、新しい学校の生活様式の中、学習でも生活でも、できること・やらねばならぬことを自分で考えて取り組めるようになっていきます。好むと好まざるにかかわらず、新型コロナウイルス感染拡大防止対策が、我々に変化と・柔軟な発想、確かな情報と迅速な対応の重要性を教えてくれたことも事実です。まだまだ、終息には時間がかかりそうですが、子ども達がコロナ禍で学んだ多くの事柄を、いつの日かまた起きるかもしれない未知の災害時の教訓としてくれればと思います。保護者・地域の方々に対しては、心ならずも多くのご迷惑・ご不便をおかけしました。皆様のご理解・ご協力があったこそ、この難局を乗り越えられていると思っています。改めて御礼を申し上げますとともに、引き続きご理解・ご協力の程お願いいたします。

さて、昔少しばかり硬式テニスをやっていたことがあります。(ジョンマッケンローやイワン・レンドル、ステファン・エドベリの時代、古すぎて分からないかな…)今は、なかなかテニスも出来ないのですが、皆さんもプロテニスプレーヤーの錦織圭選手のことは知っていると思います。今は怪我で休養していますが、2014年には、全米オープンテニスで準優勝、2016年リオデジャネイロオリンピックでは、銅メダルを獲得した日本の誇るテニスプレーヤーです。

錦織選手にとって大きな転機となったのは、元世界2位のマイケル・チャン氏をコーチに迎えてからです。錦織選手は「トップの選手と対戦する時、全米オープンテニスの時もノバクジョコビッチ選手(ATP ランキング1位)と対戦する前から、“Believe yourself”(自分を信じろ)、絶対に勝てるというのを多分1日5回くらい言われて、それで自分自身も(そう思わないといけない)と思うようになった」と言っています。技術的な指導はもちろん、メンタル面でチャンコーチが大きな支えとなっていたということを錦織選手は強調していました。

“Believe yourself”、これを学校教育の中で言い換えるならば、子ども達が自己肯定感や自己有用感をもって学習や運動に取り組むことです。誰もが学習や運動などの目標に向かって取り組む中で、本当にこのやり方でいいのかな、まだ足りないのではないのかな、自分なんか全然だめだと不安に思う場面が数多くあります。そんな時に、子ども達自身が自分はこれだけ努力したんだ、自分にはこんなに素晴らしい力があるんだ、だから今もっている最高の力を出し切ろう、ベストを尽くそうと、自信をもって取り組めるように、後押しするのが学校の役割であり、教師の仕事でもあります。

コロナ禍、子ども達は、本当によく我慢をし、努力をし、安心・安全な学校づくりに協力してくれています。校長先生は戸山小学校に関わる全ての人に心より感謝しています。

みなさんありがとうございました！！

## 生活指導の1年間を振り返って

生活指導主任

早いもので、令和3年度も残すところあと3週間余りとなりました。

コロナ禍の2年目ということで、昨年度に比べて日常生活が落ち着いてくるのではとわずかな希望をもちながら過ごしてきましたが、世の中は、混沌としていて、まだ、先の見えない状況が続いています。

コロナウイルスが未知のウイルスとして恐怖の渦に人々を巻き込む中、本校では、早くから、新しい生活様式に則って、子ども達の安心安全な学校生活のため、教職員一同全力で努めてきました。感染状況に合わせた生活様式を臨機応変に指導してきました。

子ども達は順応するのが早く、みんなで協力することの大切さを体感できたのが、コロナ禍のプラスの面だと思います。みんながきまりを守り、全体のことを考え行動すれば、平穏な世界がもどってくるのも早いかもしれません。

教育の成果は、すぐに表れるものではありません。現在の問題から未来を見据えた先手の指導を行っていきたいと思います。そして、不安や危険を未然に防ぎ、安心・安全な生活指導にこれからも努めていきたいと思っています。